

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和元年6月17日
発信課	経済部旭山動物園
担当者	万年
連絡先	電話 36-1104
	FAX 36-1406
	E-mail asahiyamazoo@city.asahikawa.hokkaido.jp

分類	イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	6月17日(月)～8月23日(金)
発表項目(行事名)	JR列車旭山動物園号の一部再現に係るクラウドファンディングについて
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>平成30年3月をもって、運行を終了したJR北海道の臨時特急「旭山動物園号」について、「走る絵本」として、多くの人に愛されたこの列車をこのまま無いものにしてしまうのではなく、憩い楽しめる場、そしてこれまでの永きに渡る運行に感謝できるよう、旭山動物園内に一部を再現することを検討しております。</p> <p>一部再現に当たり、動物園号に思いを抱く全ての方々と共に、作家あべ弘士さんによるデザインの動物園号ワールドを作りたく、クラウドファンディングにより資金を調達したいと考えておりますので、多くの方に周知・支援いただき、今回のプロジェクトを成功させるため、報道方よろしくお願ひいたします。</p> <p>1 実施主体 特定非営利活動法人 旭山動物園くらぶ</p> <p>2 募集金額 10,000千円 ※支援事業者「レディーフォー」を通して実施</p> <p>3 スケジュール(案)</p> <p>(1) 募集期間 6月17日から8月23日まで</p> <p>(2) 工事期間 9月～10月</p> <p>(3) オープニング 11月11日(冬期開園日)</p>
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (有・無のいずれかを囲むこと。)
報道(取材)に当たってのお願い	取材は、特定非営利活動法人旭山動物園くらぶ(73-6066)又は旭山動物園にお願いします。
備考	

旭山動物園号一部再現に係るクラウドファンディングの実施について

1 実施に向けたお願い

昨年3月をもって、11年間にわたって札幌と旭川を結んだJR北海道の臨時特急で内装外装まるごと全てをあべ弘士先生がデザインした「旭山動物園号」が運行を終了しました。

多くの人の記憶に残る大切な旭山動物園号をそのまま無いものにしてしまうのではなく、できることなら、この「走る絵本」を、皆さんとともに、憩える場として、楽しめる場として、そしてこれまでの永きに渡る運行に感謝できるよう、何らかの形で残すことができないだろうかと思ひ、旭山動物園内に一部を再現することを検討しております。

旭山動物園号の魅力や、多くの方々とともに歩み作り上げてきた思い出を共有できる場、レクリエーションの場として、これまでの動物園にないような新たな憩いの場の創出をしたいと思ひ、そのために、市民のみならず、動物園号に乗った人をはじめ、動物園号に思いを抱く全ての方々と共に、動物園号を感じることができ、もう一度乗っている気分になれるような、そんな空間を作りたく、クラウドファンディングにより資金を調達したいと考えております。

各会員の皆様をはじめ、多くの方に周知いただき、是非とも支援いただき、今回のプロジェクトを成功させたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。

2 募集金額

10,000千円 ※クラウドファンディング支援事業者「レディーフォー」にて実施

3 スケジュール（案）

- (1) 募集期間 6月17日から8月23日まで
- (2) 工事期間 9月～10月
- (3) オープニング 11月11日、冬期開園日

4 完成イメージ（別紙参照）

旭山動物園内のイベントホール内に旭山動物園号を一部再現し、記念写真撮影や飲食、小さなお子さんの遊び場としての機能に加え、モニターを設置し、様々な映像を見ることができるスペースとして、また、旭山動物園号の歴史等を知ることができるパネル展示などといった展示会場としての活用を予定しております。

同スペースに入れば、元旭山動物園の飼育員で現在、日本を代表する絵本作家のあべ弘士先生がデザインした動物たちに囲まれた、まさに動物園号ワールドを創出いたします。

また、同スペース2階で実施されるフォーラム等の様子をモニターで映し出し、子どもをはじめ、お年寄りや障がいのある方が気軽にご利用でき、園内でのフォーラム等の催しを視聴できるバリアフリーの取組も合わさった空間にします！！

5 その他

実施に係る詳細については、随時、各種媒体（SNS、レディーフォーHP等）により発信いたします。

■現在のイベントホール外観



■改装後のイメージ



■内装のイメージ



【改装後のイメージ】

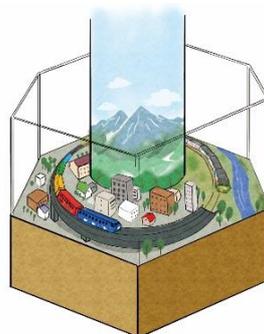


モニタ撮影や休憩ができるハグハグチェア（実物）を設置。



お子さん向けの遊び場・映像コーナー。

モニターからは、イベントホール2階で実施されるフォーラムなど、様々な映像が見られます。



旭山動物園号のNゲージの鉄道ジオラマを設置し、実際に走っていた列車や風景を感じ、楽しんでいただけます。



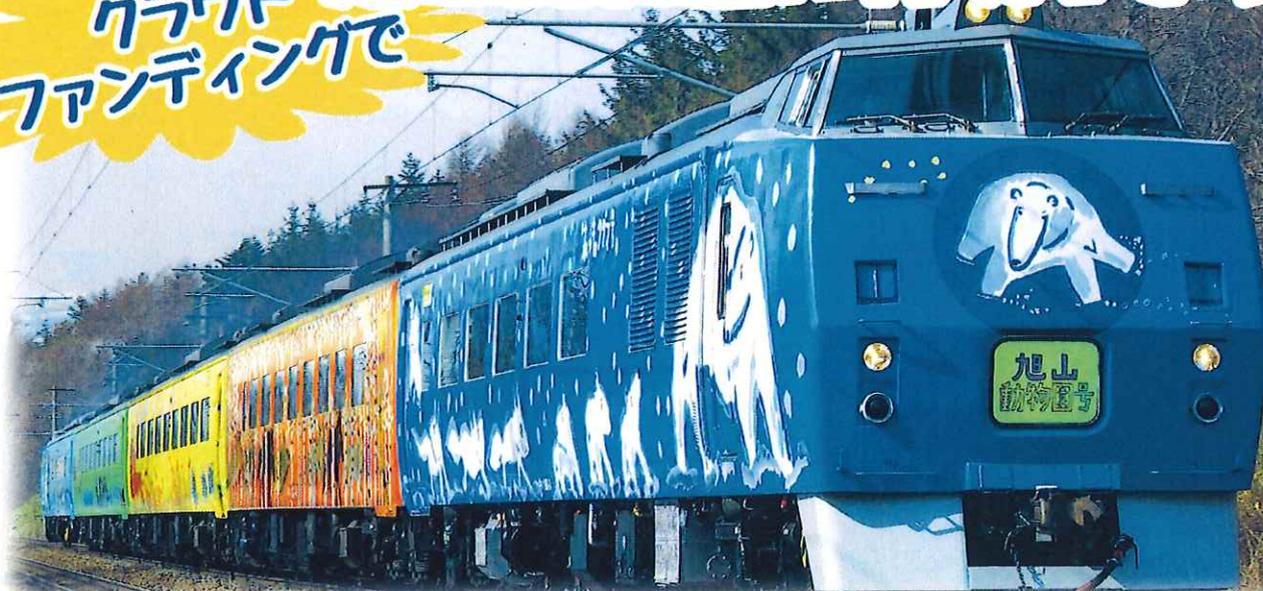
列車に乗っているかのような形で、写真撮影ができるコーナーも設置します。



旭山動物園号の世界を

旭山動物園に再現しよう!

クラウド
ファンディングで



募集
期間

6月17日~8月23日

工事
期間

9月~
10月

一般
公開

11月11日(月)
冬期開園日より

完成イメージ 「旭山動物園号」の魅力や歴史を、内装の再現やパネル展示などで表現します!



乗車気分をそのまま体験!

本物の座席を使用します!



もぐもぐコーナーを再現!

モニターも設置します!



記念撮影スポットや



電車のジオラマも!

目標
金額

1,000万円

募集
方法

クラウドファンディング支援事業者
「レディーフォー」にて実施

※実施に係わる
詳細については、
各種媒体で随時
お知らせします。

実施に向けたお願い

平成30年3月をもって、11年間にわたって札幌と旭川を結んだJR北海道の臨時特急で内装外装まるごと全てをあべ弘士先生がデザインした「旭山動物園号」が運行を終了しました。多くの人の記憶に残る大切な旭山動物園号をこのまま無くしてしまうのではなく、できることなら、この「走る絵本」を、皆さんとともに、憩える場として、楽しめる場として、そしてこれまでの永きに渡る運行に感謝できるよう、何らかの形で残すことができないだろうかと思い、旭山動物園内に一部を再現することを検討しております。

旭山動物園号の魅力や、多くの方々と共に歩み作り上げてきた思い出を共有できる場、レクリエーションの場として、これまでの動物園に無いような新たな憩いの場の創出をしたいと思い、そのために、市民のみならず、動物園号に乗った人をはじめ、動物園号に思いを抱く全ての方々と共に、動物園号を感じることができ、もう一度乗っている気分になれるような、そんな空間を作りたく、クラウドファンディングにより資金を調達したいと考えております。

各会員の皆様をはじめ、多くの方に周知いただき、是非とも支援いただき、今回のプロジェクトを成功させたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

お問合せ

特定非営利活動法人旭山動物園くらぶ事務局

TEL : (0166) 73-6066 FAX : (0166) 73-6067

Mail : asahiya@zooclub.jp

※営業時間：平日9時~18時